

畑作技術情報

発行 令和8年3月3日

第1号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

上川農業改良普及センター

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

～雪腐病対策の融雪促進～

秋まき小麦の融雪促進は、雪腐病の被害発生程度を軽減させ生育を促進させる効果が期待できます。下記を参考に実施頂きますようお願いいたします。

1. 積雪状況（旭川アメダス 令和8年3月2日現在）

本年の積雪は47cmと平年(平年値71cm)と比べ、約66%程度の積雪状況となっております。

2. 融雪材の散布（気温、天気を考慮）

○散布開始の目安は日平均気温が -3°C 以上、または最高気温が 0°C に達する日。

○融雪材は濃淡(縞状)に散布し、凹凸を作ると融雪効果は高い。

○散布後に降雪が20cm以上あった場合は再散布が必要。

○遅まき小麦は、根張りが悪く、耐寒性が弱いので、表2の目安日より1週間くらい遅く散布しましょう。

○春まき予定ほ場、初冬まき春まき小麦は早めに融雪させましょう。

※気温が高く雪解けが進むと、圃場内がぬかるみ、転倒や畦が崩壊する危険性があります。出来るだけ、圃場内に雪が十分残っている状態での散布を心掛けましょう。

表1 融雪材

資材名	日射吸収量	効果の持続性	土壌改良効果	施肥量(kg/10a)
アッシュ類	○	○	—	40～60
防散融雪炭カル	○	○	○	60～100

表2 アメダス平年値(目安)

アメダス地点	旭川市	江丹別	比布	上川
最高気温が 0°C 以上に達する日	3月1日	3月4日	3月5日	3月11日

3. 排水促進

水田転作畑など排水性が悪い圃場では、圃場額縁を含め融雪材を散布し、融雪を促します。融雪により、圃場内に滞水が生じやすいため、畦切り、溝切りを行い、圃場外へ排水します。



余裕を持って、焦らず作業をしましょう！

凹凸があるので、注意して走行しましょう！